

2021 年度  
事業報告

公益財団法人日本ナショナルトラスト

## 目次

<b>I 現況</b> .....	1
1. 事業 .....	1
2. 役員 .....	1
3. 評議員 .....	2
4. 事務局 .....	2
5. 事業資金 .....	2
<b>II 理事会・評議員会</b> .....	3
1. 理事会 .....	3
2. 評議員会 .....	3
<b>III 事業実施の概要</b> .....	4
1. 調査事業 .....	4
2. 保護事業 .....	4
3. 普及事業 .....	10
4. ネットワーク事業 .....	15
5. 団体交流事業 .....	15
6. その他 .....	16
<b>IV 登記事項、届出・報告・申請事項、登録事項</b> .....	17
参考 アドバイザー名簿、顧問名簿及び観光資源専門委員名簿 .....	18

# I 現況

## 1. 事業

定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 国民的財産として後世に継承するに足る観光資源の認定
- (2) 前号により認定された観光資源（以下「保護対象」という。）の取得及び管理運営
- (3) 観光資源に関する保護活動への支援
- (4) 観光資源に関する保護思想及び知識の普及向上
- (5) 観光資源に関する学術調査研究並びに情報の収集及び提供
- (6) 政府及び関係機関への観光資源の保護に関する建議又は陳情
- (7) この法人の健全な発展を図るために必要な関連事業の経営
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

## 2. 役員

(1) 2022年3月31日現在の役員

会 長 (代表理事)	梅崎 壽	東京地下鉄(株)顧問
副会長 (代表理事)	川村 恒明	(公財)文化財建造物保存技術協会顧問
理事長 (業務執行理事)	大庭 靖雄	常勤
副理事長 (業務執行理事)	木部 義人	(公財)日本ナショナルトラスト関西支部長
理 事	岩崎 悟志	西日本旅客鉄道(株)常務執行役員東京本部長
理 事	小川 孝行	東京地下鉄(株)常務取締役
理 事	苅谷 勇雅	元・文化庁文化財鑑査官
理 事	久保田 穰	(公社)日本観光振興協会理事長
理 事	柴崎 信三	元・日本経済新聞社論説委員
理 事	志村 格	(一社)日本旅行業協会理事長
理 事	杉浦 雅也	東海旅客鉄道(株)執行役員営業本部長
理 事	鈴木 雅和	筑波大学 芸術系 名誉教授
理 事	高野 光司	(公財)日本交通公社理事
理 事	高橋 弘行	東日本旅客鉄道(株)常務執行役員
理 事	福本 啓二	(一社)日本民営鉄道協会理事長
理 事	降幡 賢一	日本エッセイスト・クラブ事務局長(元・朝日新聞社編集委員)
理 事	廻 洋子	敬愛大学特任教授

理事 森 まゆみ 作家  
(以上理事 18 名)

監事 今村 正 税理士  
監事 佐藤 栄治 (公財)鉄道弘済会代表理事専務  
(以上監事 2 名)

### 3. 評議員

(1) 2022 年 3 月 31 日現在の評議員

評議員	大西 孝夫	元・(一財)休暇村協会理事長
評議員	黒野 匡彦	(一財)運輸総合研究所顧問
評議員	清野 智	(独)国際観光振興機構理事長
評議員	曾我 健	元・(公財)NHK交響楽団理事長
評議員	高橋 広行	(株)JTB代表取締役会長
評議員	堤 哲	元・毎日新聞編集委員
評議員	伏屋 和彦	元・会計検査院長 (元・国税庁長官)
評議員	森地 茂	政策研究大学院大学客員教授 名誉教授

### 4. 事務局

2022 年 3 月 31 日現在の職員 4 名

### 5. 事業資金

本財団の事業資金は、事業賛助団体からの寄付金並びに個人および団体からの会費等による。

## Ⅱ 理事会・評議員会

### 1. 理事会

(1) 第1回理事会 2021年5月31日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 2020事業報告及び決算報告、顧問の選任、定時評議員会の提出議題について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

出席等 提案書に対し、理事18名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員からの書面による異議がないことの意味表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 第2回理事会 2022年3月25日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 2022年度事業計画及び収支予算、2022年度補助金等の交付申請、特定資産の取崩、公益目的事業の変更、定時評議員会の招集について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告、2022年度第1回理事会の開催について

出席等 提案書に対し、理事18名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員からの書面による異議がないことの意味表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

### 2. 評議員会

(1) 定時評議員会 2021年6月14日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 2020年度事業報告及び決算報告、理事の選任について

報告事項 2021年度事業計画及び収支予算、2020年度第2回、第3回、第4回及び2021年度第1回理事会の決議事項について

出席等 提案書に対し、評議員8名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、評議員会の決議があったものとみなされた。

### Ⅲ 事業実施の概要

本年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染対策の徹底やオンラインで会議を開催する等工夫を凝らし事業に取り組んだ。これにより、保護資産の公開や活用、保護管理委員会の開催など円滑な事業運営を行うことができた。さらに、各事業でフェイスブックやインスタグラムなどを開設し積極的に SNS を活用するほか、オンラインイベントも充実させた。このように、新型コロナウイルス感染症が影響を及ぼす中においても、新たに事業を展開させ、(公財)日本ナショナルトラスト(以下、「JNT」)役職員が一丸となって事業の推進に取り組んだ。

#### 1. 調査事業

##### (1) 受託調査

###### ①「文化財保存活用地域計画策定業務」

2020年度に引き続き、3カ年事業の最終年度として、「文化財保存活用地域計画策定業務」を石川県輪島市から受託した(金額3,850,000円/税込)。この業務は、輪島市文化財保存活用地域計画作成等協議会(以下、「協議会」)の活動を、JNTが事務局支援を行う形で進めた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、オンラインでワーキング会議を開催しながら計画作成業務を行った。7月13日に開催された第7回協議会では、歴史文化の特徴、関連文化財群、文化財保存活用区域の設定および、保存と活用に関する方針と措置について協議した。また、計画書の作成に向けて文化庁と協議を行い、指導を受けた。この他、随時委員等と意見交換や調整を行い、計画書(素案)を取りまとめた。

11月16日開催された第8回協議会で計画書(素案)について検討を行い、計画書(案)を作成した。1月25日に開催された第9回協議会では計画書(案)の承認を得て、パブリックコメントの募集(2月8日~3月10日)を行った。3月17日に最終回となる第10回協議会を開催し、市民や委員の意見を取りまとめた計画書(最終案)について承認を得た。計画策定業務としては完了したが、今後は文化庁との調整等必要に応じて計画推進のためのフォローアップを行っていく。

\* 輪島市委託事業

#### 2. 保護事業

##### (1) 文化財取得保護計画に基づく保護事業

###### ①白川郷合掌造民家の修復と管理運営 (岐阜県白川村)

2021年1月の大雪で旧寺口家の除雪のため行った「白川郷雪下ろし募金」は、2021年3月1日~4月30日の期間で239,000円が集まった。また、白川郷合掌文

化館（旧松井家）・旧寺口家管理運営委員会を7月19日に書面開催し、前年度の事業報告と本年度の事業計画について了承を得た。例年10月に行われる白川村荻町祭礼（どぶろく祭り）に職員が参加してきたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で神事のみ催行することになり、JNT職員の参加を見送った。

《管理運営委員会の構成》

和田正人・白川郷荻町集落の自然環境を守る会会長、大田忠広・JNT白川ボックス代表、和田茂・JNT白川ボックス事務局、川田裕・白川村老人クラブ長生会会長、宮丸和之・白川村教育委員会教育長、安藤邦廣・筑波大学名誉教授、JNT他

\*旧松井家 貸館7件

### ②動態保存車両（トラストレイン）の運行と修繕（静岡県大井川鐵道）

トラストレインの運行は全5回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症と大雨の影響で全て中止となった。この内、恒例となった8月21日の親子ボランティアは、内容を変更し「親子イベント」として現地と参加者をオンラインでつなぐイベントを実施する予定であったが、前述の通り中止した。ボランティア活動が実施できない状況が続いたため、オンラインを活用してボランティアミーティングを開催し、トラストレインのPRチラシと運営マニュアルを作成した。また、フェイスブックにボランティアの声を掲載するなど、これまでに行っていない活動を行った。さらに、大井川鐵道株式会社のご協力のもと、7名のボランティアが参加し12月5日に安全講習および車両清掃等を行った。2月に大井川鐵道株式会社との運営会議をオンラインで開催し、2021年度の活動報告と2022年度の活動計画等について協議を行った。その際、寄託した蒸気機関車C12の動態復元の推進を大井川鐵道株式会社に要請した。

<運行日活動>なし

### ③名勝旧大乘院庭園保存整備と管理事業（奈良県奈良市）

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、恒例となっていた「観月の夕べ」の開催を中止した。また、「なら燈花会」「珠光茶会」などの公的な行事の受け入れや「関西文化の日」のイベントへの参画なども中止した。10月4日に保護管理委員会を対面とオンラインを併用したハイブリッド方式で開催し、昨年度の事業報告および本年度計画についての審議を行った。また、同日に管理協議会を開催し、管理の報告および計画について協議を行った。維持管理については、例年実施している維持管理作業に加えて、追加作業として傾きが進んでいるクロマツの剪定と支柱設置、園路の杭交換などの施設整備、高中木整姿などを実施した。

《保護管理委員会の構成》

尼崎博正・京都芸術大学教授（JNT 観光資源専門委員）、本中眞・奈良文化財研究所所長・JNT 他

\* 入園者数 12,812 名（公開日数 276 日）、 ロケーション利用等 40 件

\* 奈良県及び奈良市補助事業

④東京都指定名勝旧安田楠雄邸庭園の修理・修繕と管理活用事業（東京都文京区）

5月14日に保護管理委員会を书面開催し、昨年度の事業報告と本年度の事業計画について諮り、異議なく承認された。主な議題の1つである、平成11年に策定された保存管理計画の更新については、2月21日に第1回目のワーキング会議を開催し、更新の進め方や旧安田邸の価値等について検討した。

建物の保護管理については、大雨の後に玄関横の排水柵に雨水が溜まるなどの状態が続いたため、6月3日に工事を実施した。また、シロアリ調査を6月17日に実施、緊急対応が必要な箇所はないことを確認した。その他、1月24日～2月15日にかけて外周塀改修工事を行った。庭園については、事前にボランティア説明会を開催し、樹勢が弱い、実生などの樹木の伐採作業を8月26日に行った。

管理活用の面では、3ヵ月に1回程度の活用ワーキング会議を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月28日～5月29日は休館としたが、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会（通称：たてももの応援団）や専門家と協議しつつ五節句行事等のイベント実施や貸館等による活用に努めた。東京文化財ウィーク（事務局：東京都教育委員会）にも参画し、自治体による文化的活動に協力した。このように、様々な主体と連携し、管理活用を行った。

《保護管理委員会の構成》

井手久登・東京大学名誉教授（JNT 観光資源専門委員）、樋渡達也・前文化財指定庭園保護協議会会長、河東義之・小山工業高等専門学校名誉教授、内田青蔵・神奈川大学教授、服部勉・東京農業大学教授・JNT 他

\* 東京都補助事業

\* 一般公開 2961 名（公開日数 93 日）、貸館・団体見学・映像・写真撮影等 122 件

⑤京都市指定文化財駒井家住宅の修復と管理活用事業（京都府京都市）

7月16日に保護管理委員会を书面で開催し、昨年度の事業報告と本年度の事業計画について諮り、異議なく承認された。

建物の保護管理については、母屋2階のガラス窓が落下し破損したため、応急処置を行うとともに全てのガラス窓の点検を行った。また、温室の老朽化が進み、樋が壊れて部材の腐食が進行していることが分かった。そこで、3月に、特に緊急性の高い南面について建具や土台の取替え等の修理工事を実施した（京都市



「京都を彩る建物や庭園修理事業補助金」対象)。修理に当たっては、2～3月にかけてJNTのホームページや会報で募金を呼びかけ320,052円が集まった。台所の復元工事については、引き続き関係者と調整を続けた。

公開、活用に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月30日～6月3日と7月11日～9月30日は休館とした。その後の期間では、予約制で見学を受け付けるなど工夫したところ、見学者数は回復してきた。11月19日～11月23日の秋の特別公開では、企画展「京都の洋風建築スケッチ展」(協力：京都市立芸術大学美術学部)や温室でガラス小物ワークショップを開催した。このほかマネージャーが中心となってガーデンヨガを開催した。前述のガラス小物ワークショップとガーデンヨガは、温室の修理工事のチャリティイベントとして実施したもので、参加費は温室募金としてJNTに寄付された。9月25日～12月26日の期間に、京都市京セラ美術館の開館1周年記念展「モダン建築の京都」で駒井家住宅の資料が展示され、大きな話題となった。この際、京都市京セラ美術館と寄託契約を締結し、駒井博士の貴重な研究資料や家具の展示が実現した。また、この企画展と連動して、12月1日に駒井家住宅と旧三井家下鴨別邸の共通見学会「京都に遺る近代邸宅 和洋の美」を開催した。そのほか、マネージャーとボランティアが中心となり、休館の期間を利用して、これまでの調査の成果や館内の見どころをyoutubeで配信した。駒井家住宅のインスタグラムを開設し、フェイスブックとあわせて一般公開やイベントに関する情報を配信した。また、駒井博士の著書や研究資料などの書籍調査を続けた。

#### 《保護管理委員会の構成》

山形政昭・大阪芸術大学名誉教授、尼崎博正・京都芸術大学教授 (JNT 観光資源専門委員)、松井正文・京都大学名誉教授、三村浩史・京都大学名誉教授 (JNT 観光資源専門委員・JNT 他

\* 京都市補助事業

\* 一般公開 1167名 (公開日数 54日)、貸館・団体見学・映像・写真撮影等 32件

#### ⑥文化財取得保護計画募金計画の継続

文化財取得保護計画における募金計画の成果を受けて、各保護資産においてさらに利活用を目指した修復を実施するために、経済界および関係諸団体、会員などに対し広く呼びかけを行い、募金活動を推進した。

#### (2) その他の保護事業

##### ①天心遺跡記念公園及び天心墓地の保護管理 (茨城県北茨城市)

例年3月に実施している保護管理委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を延期した。維持管理については、例年通り北茨城市から維持管理の

ための補助金交付を受け、年間の維持管理業務を（公社）北茨城市シルバー人材センターに委託した。天心遺跡記念公園においては、定期的な除草や清掃作業、天心墓地では、除草作業と月2回の点検及び供花を行った。その他、2月16日に岡倉天心の遺志に基づき、墓地周辺に3本の梅の植樹を行った。活用に関して、今年度の観月会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み規模を縮小し、10月19日～11月23日の期間に実施された。

《保護管理委員会の構成》

豊田稔・岡倉天心偉績顕彰会会長、小泉晋弥・茨城大学名誉教授、小泉淳一・茨城県立天心記念五浦美術館館長・JNT 他

\* 北茨城市補助事業

②ED70形1号交流電気機関車の保護管理（滋賀県長浜市）

西日本旅客鉄道(株)寄贈のED70形1号交流電気機関車について長浜市民やボランティアによる保護管理を行い、広く一般に公開している。

③巻機山の景観保全（新潟県南魚沼市）

東京農業大学と連携し、夏と秋に植生復元ボランティア活動として種子採取・播種・階段造り・土砂客土作業などを実施した。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から少人数での活動となったが、継続できたことに大きな意義があった。

活動実施日 夏季活動：8月28日～30日 秋季活動：9月29日～10月1日

参加者総計 7名

④東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの実施

これまでの支援対象に対し、現状と今後の展開などを調査するためのアンケートを実施する準備をすすめた。

(3) ヘリテージセンターの管理運営

①葛城の道歴史文化館の管理運営（奈良県御所市）

葛城の道散策マップや街道の神社・仏閣に関する資料、伝統行事の写真などが展示されており、葛城古道を散策するための情報拠点となっている。また、館内には休憩所と集会所を備え、住民と来訪者が交流し、歴史を活かしたまちづくりや歴史環境の保全について考える場としても活用されている。5月1日～7月11日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した。

(入館者数 6,012名)

②飛驒の匠文化館の管理運営（岐阜県飛驒市）

飛驒の匠文化館では国内外の学生との交流が活発であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、毎年恒例の交流イベントは中止となった。その一方で、9月に木製の小物づくりが体験できる「森の動物クラフト体験」が新たなメニューとして加わった。8月30日～9月30日と1月21日～2月28日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため土日のみ開館した。

（入館者数 3,776名）

③白川郷合掌文化館（旧松井家）の管理運営（岐阜県白川村）

白川村在住のJNT会員からなる白川ボックスと管理業務委託契約を締結しており、日常点検や清掃、軽微な修理、屋根のメンテナンス等を実施した。7月29日には白川ボックス総会を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、白川郷合掌文化館（旧松井家）の夏季の一般公開を中止することを決定した。

（入館者0名）

④名勝大乘院庭園文化館の管理運営（奈良県奈良市）

恒例となっている「観月の夕べ」や「なら燈花会」等は新型コロナウイルス感染症の影響で中止したが、3月20日に奈良文化財研究所主任研究員高橋知奈津氏を講師に迎え、文化サロン「築山庭造伝を読む」を開催し好評を得た。その他、2階ギャラリーにおいて「二十四節気書画展」、入江泰吉写真展「奈良大和路 春夏秋冬」をはじめ様々な展示が行われた。10月に管理運営委員会が書面により行われた。一般公開に関しては、5月1日～5月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した。

（入館者数 28,386名）

⑤長浜鉄道文化館の管理運営（滋賀県長浜市）

長浜市および(公社)長浜観光協会により、年間を通じて長浜の鉄道史を紹介するなど、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。「おもちゃ鉄道模型展 2021～せんろ商会コレクション～」（7月22日～10月31日）が開催されたが、8月27日～9月30日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した。

（入館者数 34,213名）\*長浜スクエアとしての入館者数

⑥琴引浜鳴き砂文化館の管理運営（京都府京丹後市）

10月17日に「琴引浜どんぶらこ物語～みんなで美しい海を守りましょう」が開催された。また、10月31日に「プラスチックによる海洋汚染を知る～クリーンアップリーダー養成講座～」が開催され好評を博した。さらにホームページやフェイス

ブックを通して文化館や琴引浜について情報発信を行うなど積極的に広報活動を行った。4月25日～5月31日と、8月27日～9月17日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した。

(入館者数 6,386名)

⑦北陸線電化記念館の管理運営 (滋賀県長浜市)

D51形蒸気機関車とED70形1号交流電気機関車を通年内部公開するとともに、交流電化の歴史資料等のパネルを展示した。8月27日～9月30日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した。

(入館者数 34,213名) \*長浜スクエアとしての入館者

⑧村上歴史文化館の管理運営 (新潟県村上市)

歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を発揮し、今年度は「史跡村上城跡の石垣展」(12月4日～2月20日)、恒例となった「城下町村上に伝わるひな人形展」(2月26日～4月3日)が開催された。8月13日～8月16日と、8月25日～9月16日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した。

(入館者数 6,911名)

⑨四国鉄道文化館の管理運営 (愛媛県西条市)

四国鉄道文化館(北館と南館)は、十河信二記念館、観光交流センターとともに形成される「鉄道歴史パーク in SAIJO」として、地域の賑わいの拠点となっている。JR伊予西条駅開業100周年を記念し、6月19～20日を主な期間として写真展や運行ツアーなど様々なイベントが開催された。4月10日～5月31日、8月8日～10月22日、1月19日～3月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した。

(入館者数 18,774名)

### 3. 普及事業

#### (1) 会員事業

##### ①見学会・催し物等の開催

###### (ア) トラストトレイン

- ・トラストトレイン運行日およびボランティア参加者数

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月10日、6月5日、7月3日、8月21日、9月25日すべての運行日の活動を中止した。

※8月21日はオンラインの親子イベントを予定していた。

- ・12月5日に安全講習と客車の清掃等のボランティア活動を実施。

(イ) 旧安田楠雄邸庭園

※4月28日～5月29日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

・主催イベント

- 6月27日・・・・・・・・・・福楽寄席
- 7月11日・・・・・・・・・・新内演奏会
- 8月7日・・・・・・・・・・防空壕公開
- 9月26日・・・・・・・・・・語りと講話「高村光太郎作 智恵子抄」
- 10月6日、9日、13日、16日・・重陽の節句（「菊のきせ綿」飾り）
- 12月1日、4日、8日、11日・・紅葉狩り（園路開放）
- 3月2～5日、9日、12日・・上巳の節句
- 3月27日・・・・・・・・・・しだれ桜と琵琶の音

・協カイベント

- 11月17日、20日、24日、27日・東京文化財ウィーク（仏間の公開、園路開放など）東京都教育委員会主催
- 12月16～18日・・・・・・・・・・文京ミューズフェスタ（写真等の展示）  
文の京ミュージアムネットワーク主催

(ウ) 駒井家住宅

※4月30日～6月3日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※7月11日～9月2日まで夏季休館の予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月30日まで休館した。

・主催イベント

- 11月19日～11月23日・・・・・・・・秋の特別公開（連続公開）
  - ・企画展「京都の洋風建築スケッチ展」  
（協力：京都市立芸術大学美術学部）
  - ・ガラス小物ワークショップ

9月25日、10月17日、11月7日、12月5日、12月18日、1月15日、1月30日、2月12日、2月27日、3月6日・・・・・・・・ガーデンヨガ

・協カイベント

- 9月25日～12月26日・・・・・・・・京都市京セラ美術館開館1周年記念  
「モダン建築の京都」
- 12月1日・・・・・・・・・・旧三井家下鴨別邸の共通見学会  
「京都に遺る近代邸宅 和洋の美」

②会員活動の支援

会員の自主的な活動に対して、様々な支援を行った。

(ア) 地域活動

白川ボックス／ヘリテイジセンター白川郷合掌文化館の開館・建物維持管理

4月19日・・・雪囲いはずし

5月・・・棟つつみ

7月29日・・・清掃、総会

8月・・・夏季開館 ※中止

11月・・・雪囲い

1月～2月・・・雪降ろし

(イ) サークル活動

民家・町並みサークル

情報発信を中心に行う形で活動を継続している。

③会員増加キャンペーンの実施

関連団体及び企業の協力により、入会申込書の配布や設置、ポスター掲出等を行い、入会促進に努めた。また、期間限定で以下のキャンペーン等を行った。

(ア) 初年度会費無料キャンペーン

1月1日から3月31日までに入会した方を対象として初年度会費及び入会金を無料にするキャンペーンを実施した。

(イ) プラスワンキャンペーン

4月1日から5月31日まで会員の紹介者に対して入会金無料及び会報のバックナンバー無料のキャンペーンを行い、積極的にPRを行った。

(2) 広報事業

①会報「日本ナショナルトラスト報」の発行・配布（隔月刊）

年間6回の発行で内容の充実した会報作りを行っている。会員へ配布するとともに、事業協力者へも広く頒布し、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。

<体裁>B5 16頁 <発行部数>2,100部

<通巻>543号～548号

543号（5月1日発行）

特集「なりわい・生活に根ざす小田原の歴史まちづくり」

544号（7月1日発行）

特集「伝統建築工匠の技 ユネスコ無形文化遺産登録」

545号（9月1日発行）

特集「茅刈りイベントで目指す『良い茅』とは

～白川郷の茅葺職人さんのお話～」

546号（11月1日発行）

特集「文化財保存活用地域計画のねらいと様々なカタチ」

547号（1月1日発行）

特集「白川郷荻町集落の自然環境を守る会発足50周

～50年を振り返り、未来につなぐ取り組みを～」

548号（3月1日発行）

特集「かややね会議の人々～関心から繋がる活動のあり方～

## ②ウェブサイト、SNSでの情報発信

ウェブサイト等を積極的に活用し、会員やJNTに関心のある層への情報発信に努めた。ウェブサイトは随時修正を行い、フェイスブックも1週間に一度は更新するように努めた。会員の皆さまと双方向でつながるルーツとして好評を得ており、現在、約670人がフォローしている。その他、各事業でFacebookやインスタグラムを開設しタイムリーな情報発信を行った。

## ③メールマガジンなどの普及宣伝ツールの充実

新型コロナウイルスの影響でイベント等の中止が相次ぎ、適切な情報発信が困難となったため、今年度もメールマガジンは不定期で配信した。（登録者数 約560名）

## ④関係団体の広報協力

トラストトレインについては、本年度も地下鉄博物館（東京都江戸川区）にJNTとトラストトレインのパンフレットおよび維持修復を呼び掛ける募金箱を設置していただいた。駒井家住宅及び旧大乘院庭園については、JR西日本や叡山電鉄から継続的に広報協力を得ており、保護資産及びプロジェクトを通じ、広くJNTの紹介を行っていただいた。さらに、JR東海及びJR西日本の協力により、東海道新幹線車内誌「ひととき」（2021年10月号）で旧安田邸にスポットを当ててJNTの紹介をしていただき、大きな反響があった。

## （3）その他普及事業

### ①地域遺産支援プログラムの実施

地域遺産を支援するための事業として、本年度は、白川村と山梨県甲州市上条集落、大分県臼杵市で事業を実施した。

(ア) 岐阜県白川村

本年度も白川村と協働で茅の自給率向上の取り組みを行った。毎年11月に開催している茅刈りイベント「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト—秋の一斉茅刈り—」に関し、白川村に関心のある首都圏に在住の若者らによる「かややね会議」を開催し、企画内容を検討している。今年度は、茅刈りイベントが新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になったが、かややね会議内に「インスタグラム」「茅ほうきづくり」「PR ツールづくり」の3つのチームをつくり、メンバーの協力を得ながら多様な取り組みを実施した。インスタグラムはアカウントを開設し、かややね会議の様子が伝わる写真の掲載やイベント告知を行った。また、今年度はオンラインのイベントを充実させた。7月16日にはオンライン座談会「7時だよ！みんな集合！乾杯から始まる職人さんの茅のお話」を開催し、白川村の茅葺き職人から茅の刈り方や質の良い茅についてレクチャーを受けた。初めての大掛かりなオンラインイベントとなり、約50名もの参加を得て、大変好評であった。また、9月6日にかややね会議と和歌山大学むすび屋弥右エ門茅葺きプロジェクトのオンライン交流会を開催し、お互いの活動紹介と意見交換を行った。11月26日に開催したオンラインイベント「かやほうきをつくろう with 白川郷の屋根葺き職人さん」には約50名が参加し、茅葺き職人のレクチャーを受けて白川村の茅を使ったほうきづくりを楽しんだ。その他、3月28日に開催された日本マーケティング学会のリサーチ・プロジェクト「カスタマー・エンゲージメント研究会」第6回公開報告会で JNT 職員がかややねプロジェクトの活動紹介を行った。

(イ) 山梨県甲州市上条集落

過去に観光資源保護調査を実施した山梨県甲州市上条集落で協働事業を行っている。これまで、地元の住民団体「上条を活性化する会」の定例会に参加し、会議のファシリテーターやデータ活用などの面で会の活動支援を行ってきた。10月18日に開催された定例会では、集落をPRするためのツールづくりについて意見交換を行った。その他11月3日に開催された収穫祭に職員が参加し、当日運営サポートを行うなど地域と共に活性化に取り組んでいる。

(ウ) 連携を進めている臼杵市の住民団体から申し込みがあり、「屋敷余（やしきあま）り特殊地下壕」が新たに JNT の優待施設となった。会員は見学料1,000円が無料となる。また、臼杵市と住民団体「臼杵城泊研究会」が中心になって実施する「城泊・寺泊による歴史的資源の活用事業」（観光庁支援事業）に関して協力要請があり、11月19日、20日に開催された臼杵城



泊推進セミナーに職員が出席した。併せて上臼杵駅のデジタルサイネージに JNT の情報を掲示頂き、パンフレットを配架するなど相互に協力を行っている。

②他団体主催イベント等の後援

・「第 44 回全国町並みゼミ奈良大会」

主催：特定非営利活動法人全国町並み保存連盟

後援名義期間：2021 年 10 月 28 日～11 月 13 日

#### 4. ネットワーク事業

(1)「全国鳴砂ネットワーク」への参加

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度の総会は 2 月 12 日に書面で行われた。

(2) ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

6 月 30 日に総会が書面で行われた。大会は延期となり、11 月 23 日にオンラインで開催された。

(3) 全国近代化遺産活用連絡協議会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度の総会は 7 月 27 日に書面で行われた。また、全近鉄道遺産部会のシンポジウムが 11 月 27 日に開催され、職員がオンラインで参加した。

(4) 茅葺きフォーラム

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年度の総会は 6 月 21 日に書面で行われた。大会は延期となった。

#### 5. 団体交流事業

文化財や自然環境の保護・保全を目的とする各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を行った。また、国内の諸団体や海外のナショナル・トラストをはじめとする環境保全団体等と交流を行い、情報収集に努めた。

(1) 国内交流事業

①国内保護団体との連絡連携及び情報の交換

(ア) 文化財指定庭園保護協議会

総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止となり、書面で開催された。

(イ) 全国町並みゼミ

11月12日～13日に奈良市で開催された大会に職員がオンラインで出席した。

(ウ) 全国伝統的建造物群保存地区協議会

総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止となり、書面で開催された。

②登録を行っている諸団体

(公社)京都市観光協会、(公社)国際観光施設協会、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本茅葺き文化協会、(公財)日本交通公社、一水会(観光関係団体懇談会)、京都市内博物館施設連絡協議会、文化財保存全国協議会、文化財指定庭園保護協議会、産業考古学会、鉄道友の会、日本鉄道保存協会、文化遺産信託研究会、全国近代化遺産活用連絡協議会、湘南邸宅文化ネットワーク協議会、ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

(2) 国際交流事業

①海外保護団体との連絡連携及び情報の交換等、国際交流の推進

本年度も歴史遺産・自然環境の保護・保全を目的とするナショナル・トラスト活動を行う世界各国の各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力に努めた。

②交流を図っている団体

英国ナショナル・トラスト(名誉会員)

米国ナショナル・トラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

オーストラリア・ナショナル・トラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ニュージーランド・ナショナル・トラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

クイーンエリザベスⅡ世ナショナル・トラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ジョージア州ナショナル・トラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

フィジー・ナショナル・トラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

バミューダ・ナショナル・トラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

## 6. その他

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

「運営を支える緊急支援募金」を継続して実施しており、今年度は1,736,000円の寄付があった(3月末現在)。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

め、政府、東京都などから発信される情報を参考にして対応方針を定め、在宅勤務や時差出勤などを行った。

(2) 事業賛助等の協力要請について

新型コロナウイルスの感染拡大が、当財団の財政に深刻な影響を与えている中、当財団の事業へのご理解やご支援の継続を求めて積極的に依頼を行った。その結果、多くの企業・団体から支援を継続して頂いていた。また、教育、建設、物流関係等幅広い分野の法人にもご支援をお願いし、新たな協力が得られた。

## IV 登記事項、届出・報告・申請事項

### 1. 登記事項

2021年6月28日

- ・ 阪本未来子理事・武市信彦理事の退任、岩崎悟志理事・高橋弘行理事の就任（2021年6月14日付）

### 2. 届出・報告・申請事項

2021年6月30日

- ・ 事業報告等の提出（内閣府）

2021年7月19日

- ・ 理事変更届出（内閣府）

2022年3月31日

- ・ 事業計画書等の提出（内閣府）

## 参考

### アドバイザー名簿 (2022年3月31日現在)

アドバイザー	大塚 陸毅	東日本旅客鉄道(株)顧問
--------	-------	--------------

(以上アドバイザー1名)

### 顧問名簿 (2022年3月31日現在)

顧問	石原 進	九州旅客鉄道(株)特別顧問
顧問	泉 雅文	四国旅客鉄道(株)相談役
顧問	大須賀 頼彦	小田急電鉄(株)特別社友
顧問	大塚 雄二郎	大塚化学(株)特別相談役
顧問	大橋 洋治	ANA ホールディングス(株)相談役
顧問	尾関 宗園	大徳寺大仙院閑栖
顧問	門脇 邦彦	日本空港ビルデング(株)名誉会長
顧問	柄澤 康喜	MS&AD インシュアランスグループホールディングス(株)取締役会長
顧問	小山 薫堂	放送作家
顧問	小山 正宣	前・(公財)日本ナショナルトラスト理事長
顧問	須田 寛	東海旅客鉄道(株)顧問
顧問	田浦 芳孝	北海道旅客鉄道(株)代表取締役会長
顧問	富田 哲郎	東日本旅客鉄道(株)取締役会長
顧問	夏目 誠	成田国際空港(株)顧問
顧問	根津 嘉澄	東武鉄道(株)代表取締役社長
顧問	原田 一之	京浜急行電鉄(株)取締役社長
顧問	伏見 勝	元・報知新聞社最高顧問
顧問	真鍋 精志	西日本旅客鉄道(株)相談役
顧問	MARI CHRISTINE	異文化コミュニケーター
顧問	宮田 亮平	金工作家(前・文化庁長官)
顧問	宮原 博昭	(株)学研ホールディングス代表取締役社長
顧問	村田 光平	元・駐スイス大使
顧問	山村 明義	東京地下鉄(株)代表取締役社長
顧問	山本 亜土	名古屋鉄道(株)相談役

(以上顧問24名)

観光資源専門委員名簿 (2022年3月31日現在)

観光資源専門委員	尼崎 博正	京都芸術大学教授
観光資源専門委員	井手 久登	東京大学名誉教授
観光資源専門委員	大塚 初重	明治大学名誉教授
観光資源専門委員	河東 義之	小山工業高等専門学校名誉教授
観光資源専門委員	西村 幸夫	東京大学名誉教授
観光資源専門委員	三隅 治雄	東京文化財研究所名誉研究員
観光資源専門委員	三村 浩史	京都大学名誉教授

(以上観光資源専門委員7名)